

06. 設置の趣旨等を記載した書類（別添資料）

目次	1
資料1 淑徳大学 人文学部人間科学科（仮称） 進学需要等に関するアンケート調査結果報告書（抜粋）	2
資料2 淑徳大学 人文学部人間科学科 学位授与方針と教育課程編成方針の相関図	22
資料3 淑徳大学短期大学部健康福祉学科介護福祉専攻の最近2年間の定員充足状況	24
資料4 淑徳大学 人文学部人間科学科 基礎教育科目・専門教育科目 体系図	25
資料5 淑徳大学 人文学部人間科学科 履修モデル	30
資料6 心理実習施設一覧（承諾書を含む）	34
資料7 心理実習 健康管理チェック表	42
資料8 大学の学部等設置に伴う教員の採用に関する規程	43
資料9 図書等購入計画	44
資料10 教授会規程	45
資料11 大学協議会規程	47
資料12 人文学部教学委員会規程	49
資料13 人文学部キャリア支援委員会	51
資料14 淑徳大学キャンパス附属図書館運営委員会規程	53
資料15 内部質保証の推進について	55
資料16 ガバナンス体制図	57
資料17 淑徳大学内部質保証に関する規程	58
資料18 淑徳大学自己点検・評価に関する規程	60
資料19 淑徳大学学部自己点検・評価委員会規程	62
資料20 社会的・職業的自立に関する指導及び体制の概要	64
資料21 キャリア支援日程表	65

淑徳大学 人文学部 人間科学科 (仮称)
進学需要等に関するアンケート調査
結果報告書 (抜粋)

令和4年2月

株式会社 島津理化

目 次

I. 進学需要調査（集計結果）（省略）

【2年生】

調査対象等	1
調査結果概要	2～6
大学進学全般に関する質問事項	
高等学校卒業後の進路	2
進学を希望する分野	3
淑徳大学 人文学部 人間科学科に関する質問事項	
人文学部人間科学科への興味・関心	4
人文学部人間科学科の受験希望	5
人文学部人間科学科への入学希望	6

II. 進学需要調査（集計結果）（省略）

【1年生】

調査対象等	7
調査結果概要	8～12
大学進学全般に関する質問事項	
高等学校卒業後の進路	8
進学を希望する分野	9
淑徳大学 人文学部 人間科学科に関する質問事項	
人文学部人間科学科への興味・関心	10
人文学部人間科学科の受験希望	11
人文学部人間科学科への入学希望	12

III. 人材需要調査（集計結果）

調査対象等	13
調査結果概要	14～16
調査対象に関する質問事項	
所在地	14
人材の充足状況	15
淑徳大学 人文学部 人間科学科に関する質問事項	
人文学部人間科学科で養成する人材の必要性	16
人文学部人間科学科で学んだ卒業生の採用	17
人文学部人間科学科で学んだ卒業生の採用人数	18

IV. 参考資料

進学需要調査関係	
進学需要調査 調査票	
進学需要調査 依頼先一覧	
人文学部 人間科学科 概要	

人材需要調査関係

人材需要調査 調査票

人材需要調査 依頼先一覧

人文学部 人間科学科 概要

Ⅲ. 人材需要調査（集計結果）

Ⅲ. 人材需要調査（集計結果）

【調査対象等】

淑徳大学では、令和5年4月の開設に向けて既設の人文学部に人間科学科（仮称）の設置を計画しており、この人間科学科（仮称）の設置計画を策定するにあたり、人材需要の見通しを計量的な数値から検証することを目的として、東京都及び隣接県に所在している社会福祉法人や医療法人及び民間企業等を中心とした人材需要等に関するアンケート調査を実施した。

①調査対象

東京都を中心に所在している社会福祉法人等

②調査方法

社会福祉法人等への郵送及び訪問による配布、回収

③調査実施

令和3年9月～令和3年12月

④調査件数

回答件数：135件

※表内の比率は四捨五入のため、各項目の合計値は一致しない。

【調査結果概要】

<調査対象に関する質問事項>

1. 所在地

東京都及び隣接県に所在している社会福祉法人等に対して、所在地について質問したところ、回答件数 135 件の約 47.41%にあたる 64 件が「東京都」と回答しており、次いで、回答件数 135 件の約 27.41%にあたる 37 件が「埼玉県」、回答件数 135 件の約 10.37%にあたる 14 件が「千葉県」と回答している。

問 1 所在地

No.	カテゴリ	件数/件	全体/%
1	東京都	64	47.41
2	埼玉県	37	27.41
3	千葉県	14	10.37
4	その他	20	14.81
	未回答・不明	0	0.0
	合計	135	100.00

【調査結果概要】

<調査対象に関する質問事項>

2. 人材の充足状況

東京都及び隣接県に所在している社会福祉法人等に対して、人材の充足状況について質問したところ、回答件数 135 件の約 4.44%にあたる 6 件が「非常に不足している」と回答しており、回答件数 135 件の約 28.15%にあたる 38 件が「不足している」、回答件数 135 件の約 52.59%にあたる 71 件が「若干不足している」と回答しており、人材の未充足の状況がうかがえる。

問2 人材の充足状況

No.	カテゴリ	件数/件	全体/%
1	充足している	20	14.81
2	若干不足している	71	52.59
3	不足している	38	28.15
4	非常に不足している	6	4.44
	未回答・不明	0	0.0
	合計	135	100.00

【調査結果概要】

<淑徳大学 人文学部 人間科学科に関する質問事項>

3. 人文学部 人間科学科で養成する人材の必要性

東京都及び隣接県に所在している社会福祉法人等に対して、淑徳大学の人間科学科で養成する人材の必要性について質問したところ、回答件数 135 件の約 90.37%にあたる 122 件が「必要性を感じる」と回答しており、淑徳大学の人間科学科で養成する人材の必要性を認めている。

問 3 人文学部 人間科学科で養成する人材の必要性

No.	カテゴリ	件数/件	全体/%
1	必要性を感じる	122	90.37
2	必要性を感じない	13	9.63
	未回答・不明	0	0.00
	合計	135	100.00

【調査結果概要】

＜淑徳大学 人文学部 人間科学科に関する質問事項＞

4. 人文学部 人間科学科で学んだ卒業生の採用

東京都及び隣接県に所在している社会福祉法人等に対して、淑徳大学の人間科学科で学んだ卒業生の採用について質問したところ、回答件数 135 件の約 87.41%にあたる 118 件が「採用したいと思う」と回答しており、淑徳大学の人間科学科で学んだ卒業生の採用に積極的な意向を示している。

問 4 人文学部 人間科学科で学んだ卒業生の採用

No.	カテゴリ	件数/件	全体/%
1	採用したいと思う	118	87.41
2	採用したいと思わない	14	10.37
	未回答・不明	3	2.22
	合計	135	100.00

【調査結果概要】

＜淑徳大学 人文学部 人間科学科に関する質問事項＞

5. 人文学部 人間科学科で学んだ卒業生の採用人数

東京都及び隣接県に所在している社会福祉法人等に対して、淑徳大学の人間科学科で学んだ卒業生の採用人数について質問したところ、問4で淑徳大学の人間科学科で学んだ卒業生を「採用したいと思う」と回答した社会福祉法人等のうち、採用人数「1人」と回答したのが10件、「2人」と回答したのが11件、「3人以上」と回答したのが15件、「人数は未定」と回答したのが81件となっている。

なお、採用人数「3人以上」と回答した採用人数を「3人」、「人数は未定」と回答した採用人数を「1人」として、これらの採用人数を合計すると「158人」となり、この採用人数からも淑徳大学の人間科学科で学んだ卒業生に対する採用意向の高さをうかがうことができる。

このような東京都及び隣接県に所在している社会福祉法人や医療法人及び民間企業等に限定した調査結果においても、淑徳大学の人間科学科で学んだ卒業生への採用意向の高さがうかがえることから、卒業後の進路については十分な見通しがあると考えられる。

問5 人文学部 人間科学科で学んだ卒業生の採用人数

No.	カテゴリ	件数/件	全体/%
1	1人	10	8.47
2	2人	11	9.32
3	3人以上	15	12.71
4	人数は未定	81	68.64
	未回答・不明	1	0.85
	合計	118	100.00

問4×問5 卒業生の採用×卒業生の採用人数

No.	カテゴリ	件数/件	全体/人
1*1	採用したいと思う/1人	10	10
1*2	採用したいと思う/2人	11	22
1*3	採用したいと思う/3人以上	15	45
1*4	採用したいと思う/人数は未定	81	81
	合計	117	158

IV. 参考資料

人材需要調査関係

淑徳大学 人文学部 人間科学科（仮称）

人材需要等に関するアンケート調査

淑徳大学では、心理学・福祉学・教育学・健康科学を横断的に複眼的かつ総合的に学ぶことにより、人間への理解を深め、人間のこころと身体の健康に関わる諸課題を実践的に解決するための専門的知識と能力を身に付けた人材の養成を目的として、人文学部に人間科学科（仮称）の設置を検討しております。

このアンケート調査は、人事・採用ご担当の皆様からのご意見をお聞きし、人文学部 人間科学科（仮称）の設置に向けての基礎資料とするものですので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、このアンケートの結果は、コンピュータにより処理され、統計資料としてのみ用いることとしており、個別の回答内容について公開したりすることはありません。

回答は、別紙の『淑徳大学 人文学部 人間科学科（仮称）概要』をご覧ください。設問の順に、該当する番号を直接回答欄にご記入ください。

【回答欄】

問1 貴施設・貴社の所在地について、お尋ねいたします。

- 1 東京都 2 埼玉県
3 千葉県 4 その他（具体的に：)

問2 貴施設・貴社における人材の充足状況について、お尋ねいたします。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 充足している 2 若干不足している
3 不足している 4 非常に不足している

問3 淑徳大学の人文学部 人間科学科（仮称）で養成する人材について、どのようにお考えになりますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 必要性を感じる 2 必要性を感じない

問4 淑徳大学の人文学部 人間科学科（仮称）で学んだ卒業生の採用について、どのようにお考えになりますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 採用したいと思う 2 採用したいと思わない

<問5は、問4で「1」と回答された方のみ、お答えください>

問5 淑徳大学の人文学部 人間科学科（仮称）で学んだ卒業生を採用する場合の採用人数について、どのようにお考えになりますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 1人 2 2人
3 3人以上 4 人数は未定

これで、アンケートは終わりです。

ご多忙中、ご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。

人材需要調査 依頼先一覧 (207 件)

No.	機 関 等 名	所 在 地
1	社会福祉法人至誠学舎東京	東京都西東京市
2	HITOWAケアサービス株式会社	東京都港区
3	医療法人社団桐和会グループ	東京都江戸川区
4	社会福祉法人鳩山松寿会	埼玉県比企郡
5	社会福祉法人北野会 マイライフ徳丸	東京都板橋区
6	社会福祉法人みその福祉会	東京都板橋区
7	株式会社しまナーシングホーム	東京都新宿区
8	社会福祉法人ファミリー ハピネスあだち	東京都足立区
9	社会福祉法人あそか会	東京都江東区
10	社会福祉法人川崎聖風福祉会	神奈川県川崎市
11	社会福祉法人東京老人ホーム	東京都西東京市
12	株式会社木下の介護 (木下グループ)	東京都新宿区
13	株式会社大起エンゼルヘルプ	東京都荒川区
14	株式会社ツクイ	神奈川県横浜市
15	社会福祉法人えがりて 特別養護老人ホーム吹上苑	埼玉県鴻巣市
16	株式会社ベネッセスタイルケア	東京都新宿区
17	社会福祉法人健友会	埼玉県川越市
18	社会福祉法人三徳会	東京都品川区
19	ALSOK介護株式会社	埼玉県さいたま市
20	社会福祉法人弘優尽会 けやきホームズ	埼玉県さいたま市
21	株式会社ニチイケアパレス	東京都千代田区
22	社会福祉法人和光福祉会	埼玉県和光市
23	社会福祉法人相愛福祉会 蔵の町・川越	埼玉県川越市
24	社会福祉法人池上長寿園	東京都大田区
25	社会福祉法人愛の泉 特別養護老人ホーム愛泉苑	埼玉県加須市
26	社会福祉法人南山会 特別養護老人ホーム喜多見ホーム	東京都世田谷区
27	社会福祉法人豊島区社会福祉事業団	東京都豊島区
28	社会福祉法人同塵会	神奈川県横浜市
29	社会福祉法人うらら	東京都北区
30	社会福祉法人明徳会	東京都八王子市
31	社会福祉法人松楓会 養護老人ホーム松楓園	東京都あきる野市
32	株式会社やまねメディカル	東京都中央区
33	社会福祉法人相愛福祉会 ウィステリア鶴瀬	埼玉県富士見市
34	社会福祉法人竹清会	東京都町田市
35	社会福祉法人ハッピーネット	埼玉県さいたま市
36	社会福祉法人温光会 特別養護老人ホームみはま苑	千葉県千葉市
37	社会福祉法人晴山会 特別養護老人ホーム飛鳥晴山苑	東京都北区
38	株式会社アズパートナーズ	東京都千代田区
39	株式会社サンケイビルウェルケア	東京都千代田区

No.	機 関 等 名	所 在 地
40	社会福祉法人練馬区社会福祉事業団	東京都練馬区
41	医療法人社団明芳会 クローバーのさとイムスケアカウピリ板橋	東京都板橋区
42	社会福祉法人狭山公樹会	埼玉県狭山市
43	社会福祉法人北区社会福祉事業団	東京都北区
44	株式会社エスケアメイト	東京都台東区
45	医療法人社団健育会 ケアセンターけやき	東京都板橋区
46	S O M P O ケア株式会社	東京都品川区
47	社会福祉法人不二健育会 特別養護老人ホームケアポート板橋	東京都板橋区
48	社会福祉法人一寿会 特別養護老人ホームきたもと寿苑	埼玉県北本市
49	ケアサポート株式会社	埼玉県さいたま市
50	医療法人若葉会 介護老人保健施設わかばの丘	埼玉県東松山市
51	社会福祉法人竹恵会 特別養護老人ホームけんちの里	東京都東久留米市
52	社会福祉法人カリタスの園 小百合の寮	東京都杉並区
53	社会福祉法人砂町友愛園 砂町友愛園養護部	東京都青梅市
54	社会福祉法人加須福祉会 みつまた保育園	埼玉県加須市
55	社会福祉法人二葉保育園 児童養護施設二葉学園	東京都新宿区
56	社会福祉法人茅ヶ崎学園	神奈川県茅ヶ崎市
57	株式会社こどもの森	東京都国分寺市
58	社会福祉法人埼玉県社会福祉事業団	埼玉県比企郡
59	社会福祉法人獅子吼園 児童養護施設獅子吼園	千葉県茂原市
60	社会福祉法人富士見市社会福祉事業団	埼玉県富士見市
61	社会福祉法人子供の町	埼玉県春日部市
62	社会福祉法人東京都社会福祉事業団	東京都新宿区
63	社会福祉法人錦華学院	東京都練馬区
64	社会福祉法人チルドレンス・パラダイス 児童養護施設子山ホーム	千葉県いすみ市
65	社会福祉法人東海学園	千葉県旭市
66	社会福祉法人神愛ホーム	埼玉県入間郡
67	社会福祉法人共生会 児童養護施設希望の家	東京都葛飾区
68	社会福祉法人お告げのフランシスコ姉妹会 聖フランシスコ子供寮	東京都大田区
69	社会福祉法人東京恵明学園	東京都青梅市
70	社会福祉法人羽生福祉会 児童養護施設ふれんど	埼玉県羽生市
71	社会福祉法人白十字会林間学校	神奈川県茅ヶ崎市
72	社会福祉法人朝陽学園	東京都三鷹市
73	社会福祉法人扶助者聖母会 児童養護施設星美ホーム	東京都北区
74	社会福祉法人セント・ジョセフ会 聖ヨゼフホーム	東京都西東京市
75	社会福祉法人マハヤナ学園 マハヤナ学園撫子園	東京都板橋区
76	社会福祉法人同胞援護婦人連盟	東京都八王子市
77	社会福祉法人愛児の家	東京都中野区
78	社会福祉法人青少年福祉センター	東京都足立区

No	機 関 等 名	所 在 地
79	社会福祉法人天使園 児童養護施設今井城学園	東京都青梅市
80	社会福祉法人昇栄会 児童養護施設ケヤキホーム	埼玉県行田市
81	社会福祉法人箱根恵明学園	神奈川県足柄下郡
82	社会福祉法人晴香 児童養護施設晴香園	千葉県松戸市
83	社会福祉法人のぞみの家	東京都武蔵野市
84	社会福祉法人埼玉育児院	埼玉県川越市
85	社会福祉法人二葉保育園 二葉むさしが丘学園	東京都小平市
86	社会福祉法人川崎愛児園	神奈川県川崎市
87	社会福祉法人六踏園	東京都調布市
88	社会福祉法人星光会 児童養護施設平和園	千葉県市原市
89	社会福祉法人東京都社会福祉事業団 東京都船形学園	千葉県館山市
90	社会福祉法人ホザナ園	埼玉県さいたま市
91	社会福祉法人松葉の園 児童養護施設まつば園	東京都板橋区
92	社会福祉法人児童愛護会	千葉県長生郡
93	社会福祉法人雀幸園 児童養護施設雀幸園	埼玉県熊谷市
94	社会福祉法人一粒会 児童養護施設 野の花の家	千葉県木更津市
95	社会福祉法人松柏児童園 西台こども館	東京都板橋区
96	社会福祉法人聖友ホーム 聖友乳児院	東京都杉並区
97	社会福祉法人東京聖労院 北区立八幡山児童館	東京都北区
98	社会福祉法人埼玉県社会福祉事業団 児童養護施設おお里	埼玉県熊谷市
99	社会福祉法人東京恵明学園 児童部	埼玉県熊谷市
100	シダックス大新東ヒューマンサービス(株) 狭山市立広瀬児童館	埼玉県渋谷区
101	社会福祉法人神奈川県社会福祉事業団 児童養護施設すまいる	神奈川県川崎市
102	社会福祉法人理趣会 あいう園美園放課後児童クラブ	埼玉県さいたま市
103	社会医療法人至仁会 圏央所沢病院	埼玉県所沢市
104	医療法人聖心会 南古谷病院	埼玉県川越市
105	木村整形外科	東京都豊島区
106	埼玉医療生活協同組合 羽生総合病院	埼玉県羽生市
107	医療法人社団白報会	東京都台東区
108	中田歯科医院	東京都練馬区
109	堤歯科・小児歯科クリニック	埼玉県富士見市
110	公益社団法人地域医療振興協会 東京ベイ・浦安市川医療センター	千葉県浦安市
111	医療法人社団愛友会 伊奈病院	埼玉県北足立郡
112	戸田中央医科グループ(TMG)	埼玉県戸田市
113	医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院	埼玉県上尾市
114	医療法人社団愛友会 津田沼中央総合病院	千葉県習志野市
115	医療法人財団健貢会 総合東京病院	東京都中野区
116	医療法人鉄蕉会 亀田総合病院	千葉県鴨川市
117	医療法人社団明芳会 横浜新都市脳神経外科病院	神奈川県横浜市

No	機 関 等 名	所 在 地
118	医療法人徳洲会 湘南藤沢徳洲会病院	神奈川県藤沢市
119	医療法人三愛会 三愛会総合病院	埼玉県三郷市
120	社会福祉法人埼玉医療福祉会 光の家療育センター	埼玉県入間郡
121	医療法人社団哺育会 さがみりハビリテーション病院	神奈川県相模原市
122	株式会社ファクトリージャングループ	東京都千代田区
123	医療法人社団明芳会 板橋ロイヤルケアセンター	東京都板橋区
124	国立大学法人東京大学 東京大学医学部附属病院	東京都文京区
125	公益財団法人日本心臓血圧研究振興会 附属榊原記念病院	東京都府中市
126	医療法人真正会 霞ヶ関南病院	埼玉県川越市
127	医療法人五星会 菊名記念病院	神奈川県横浜市
128	学校法人杏林学園 杏林大学医学部付属病院	東京都三鷹市
129	医療法人社団哺育会 浅草病院	東京都台東区
130	一般財団法人博慈会 博慈会記念総合病院	東京都足立区
131	学校法人埼玉医科大学 埼玉医科大学病院	埼玉県入間郡
132	医療法人社団光輝会 大原眼科	埼玉県さいたま市
133	東都保健医療福祉協議会	東京都足立区
134	医療法人寿世堂 中川眼科	埼玉県和光市
135	医療法人葵 深谷中央病院	埼玉県深谷市
136	医療法人社団慶栄会 八潮病院	埼玉県八潮市
137	医療法人社団東京巨樹の会 東京品川病院	東京都品川区
138	IMSグループ (板橋中央総合病院グループ)	東京都板橋区
139	医療法人沖縄徳洲会 湘南鎌倉総合病院	神奈川県鎌倉市
140	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 埼玉県済生会川口総合病院	埼玉県川口市
141	医療法人社団協友会 柏厚生総合病院	千葉県柏市
142	医療法人蒼龍会 武蔵嵐山病院	埼玉県東松山市
143	医療法人社団三喜会 鶴巻温泉病院	神奈川県秦野市
144	医療法人社団誠馨会 新東京病院	千葉県松戸市
145	医療法人社団元気会 横浜病院	神奈川県横浜市
146	医療法人大社会 久喜すずのき病院	埼玉県久喜市
147	日本赤十字社 さいたま赤十字病院	埼玉県さいたま市
148	社会医療法人財団石心会 埼玉石心会病院	埼玉県狭山市
149	社会医療法人河北医療財団 河北総合病院	東京都杉並区
150	医療法人社団庄和会 庄和中央病院	埼玉県春日部市
151	社会医療法人社団埼玉巨樹の会 新久喜総合病院	埼玉県久喜市
152	医療法人社団泰薫会 小川眼科秋葉原	東京都千代田区
153	一般財団法人多摩緑成会 緑成会整育園	東京都小平市
154	医療法人恵愛会 恵愛病院	埼玉県富士見市
155	株式会社ティップネス	東京都港区
156	株式会社ジャパンスポーツ	東京都杉並区

No.	機 関 等 名	所 在 地
157	株式会社オクスベストフィットネス	千葉県佐倉市
158	株式会社わかば	埼玉県越谷市
159	日本製紙総合開発株式会社	東京都北区
160	ケイ・アンド・エム・インターナショナル株式会社	東京都品川区
161	株式会社ムーヴ・オン カーブス事業部	東京都清瀬市
162	特定非営利活動法人ヘルスプランニング	東京都練馬区
163	株式会社ホットスリム	東京都立川市
164	株式会社ワイズ・スポーツ&エンターテイメント	東京都世田谷区
165	株式会社HIGHWAVE	神奈川県茅ヶ崎市
166	株式会社大丸プランニング	東京都台東区
167	株式会社横浜国際ゴルフ倶楽部	神奈川県横浜市
168	株式会社Y S A	東京都大田区
169	P R E B O	神奈川県相模原市
170	株式会社小田急スポーツサービス	神奈川県綾瀬市
171	株式会社フィットバイト	千葉県習志野市
172	株式会社海宝	東京都新宿区
173	株式会社大泉スワロー体育クラブ	東京都練馬区
174	株式会社ゴールドエッグス	東京都港区
175	株式会社ニスポ	東京都港区
176	スポーツクラブNAS株式会社	東京都江東区
177	株式会社ルネサンス	東京都墨田区
178	株式会社セサミ	神奈川県横浜市
179	住友不動産エスフォルタ株式会社	東京都新宿区
180	株式会社文教センター	東京都品川区
181	株式会社エポックススポーツクラブ	千葉県船橋市
182	株式会社ウェルネスフロンティア	東京都墨田区
183	株式会社ダンロップスポーツウェルネス	千葉県千葉市
184	株式会社シンワ・スポーツ・サービス	埼玉県川越市
185	株式会社スポフレ21	埼玉県大里郡
186	J R 東日本スポーツ株式会社	東京都豊島区
187	株式会社THINKフィットネス	東京都江東区
188	株式会社フクシ・エンタープライズ	東京都江東区
189	有限会社高岡 (スポーツジムコスモス)	神奈川県川崎市
190	東急スポーツシステム株式会社	東京都渋谷区
191	株式会社ボディーズ	東京都千代田区
192	株式会社ビーウォッシュ	東京都豊島区
193	有限会社ビクトリースポーツクラブ	東京都北区
194	株式会社R-body project	東京都渋谷区
195	株式会社久ヶ原スポーツクラブ	東京都大田区

No.	機 関 等 名	所 在 地
196	株式会社フィットネス・サポート	東京都多摩市
197	株式会社シュガー	東京都東村山市
198	株式会社ヴェルディ	千葉県千葉市
199	株式会社セレーネ	東京都港区
200	株式会社ELAN	千葉県千葉市
201	株式会社リエゾン	神奈川県川崎市
202	株式会社ベンチャーバンク	東京都港区
203	株式会社FEEL CONNECTION	東京都中央区
204	株式会社東京天理教館 東京スイミングセンター	東京都千代田区
205	株式会社ベンチャーバンクインフィット jump one 事業部	東京都中央区
206	株式会社Re・ファイン	東京都新宿区
207	スポーツメディア株式会社	東京都港区

淑徳大学 人文学部 人間科学科(仮称) 概要

■設置概要 ※設置学部、学生定員、設置時期等は予定です

- * 学部学科：人文学部 人間科学科（4年制）
- * 学生定員：入学定員 100名／収容定員 400名（男女共学）
- * 設置時期：令和5年4月
- * 設置場所：東京都板橋区前野町6-36-4
- * アクセス：東武東上線 ときわ台駅から徒歩約12分
都営三田線 志村三丁目駅から徒歩約18分



■教育研究上の目的

人間科学科では、組織として研究対象とする中心的な学問分野を「心理学」として、「人間の心理・福祉・教育・健康に関する理論・方法・内容・制度など、各領域の横断的な教育研究を通じて、人間の理解のもと、人間のこころと身体に関する健康に関わる諸問題について、人間発達・人間援助・人間支援の観点から実践的に考究することにより、共生社会の発展と向上に寄与する」ことを教育研究上の目的とします。

■養成する人材

人間科学科では、心理学を基礎として福祉・教育・健康の各領域を横断的に複眼的かつ総合的に学ぶことにより、科学的で多面的な視点から人間への理解を深め、人間のこころと身体に関する健康に関わる諸課題を実践的に解決するための専門的知識と能力を身に付けた人材を養成します。

■修得する能力

人間科学科では、人間科学の学問体系の理解及び人間の心理・福祉・教育・健康に関する理論・方法・内容・制度などに関する基礎的な知識を習得したうえで、それらの知識を様々な現場で活用することができる実践的な能力を習得するとともに、現代社会における人間を取り巻くこころと身体に関する健康に関わる諸課題の理解のもとに、人間発達・人間援助・人間支援の観点から心理・福祉・教育・健康の領域で貢献する態度を身に付けます。

■取得を目指す資格

人間科学科で、取得を目指す主な資格は、次の通りです。

- 公認心理師（大学院進学後）、臨床心理士（大学院進学後）、認定心理士、福祉心理士、児童指導員（任用資格）、社会福祉主事（任用資格）、准学校心理師、ピアヘルパー

■想定される卒業後の進路

人間科学科の卒業後の進路としては、医療関連施設や福祉関連施設・教育関連施設などにおいて、例えば、次のような業務に従事することが想定されます。

- ・医療機関や福祉施設などにおいて、こころの悩みや問題を抱えている人やその家族からの相談を受け、問題の解決にむけた助言や指導などを行う業務。
- ・老人ホームをはじめとする高齢者福祉施設などにおいて、サービスを利用する人やその家族の心と身体に関する健康保持に関する支援や指導などを行う業務。
- ・児童厚生施設や児童養護施設などにおいて、他の専門職と協力して、児童の自立や健康の増進のための生活援助や学習支援・運動指導などを行う業務。

■学費等（初年度納付金）－類似の学部等の学費－

淑徳大学	人文学部	人間科学科	1,460,610円（うち、入学金200,000円）
大正大学	心理社会学部	人間科学科	1,412,500円（うち、入学金200,000円）
武蔵野大学	人間科学部	人間科学科	1,194,600円（うち、入学金180,000円）

I. 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

学期に定める卒業要件を満たし、社会構成員としての基本的教育及び人間科学に関する専門教育の知識・技能及び態度を有する者に卒業を認定し、学位を授与する。

【1 社会の構成員としての基本的知識・技能・態度】

社会生活で必要となる汎用的技能及び社会の一員として求められる態度や志向性を身に付けているとともに、人類の文化、社会と自然に関する知識について理解している。

- (1) 日本語及び外国語によるコミュニケーション能力を身に付けている。
- (2) 情報通信機器の活用に関する知識・技能を持ち、利用における法令順守の態度を身に付けている。
- (3) 問題を発見し、課題を解決する能力を持ち、立案・実行過程で主体性を持って協働できる態度を身に付けている。
- (4) 人間・文化・社会・国際事情あるいは自然等について幅広い知識と理解を有している。

【2 人間科学分野における知識・技能・態度】

人間科学科は、心理・福祉・教育・健康などの領域から、人間について理解し、人と社会を支える事ができる、理論的かつ実践的な知識と技能を身に付けている。

- (1) 人間科学に関する知識を体系的に修得し、社会の多種多様な実践の場で活用する技能・能力を身に付けている。
- (2) 人間が心身ともに健康的な生活を営む人間支援を実現するために、心理、社会福祉、健康および教育などに関する応用的な知識をもって、地域社会へ貢献する意欲を身に付けている。

II. 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

人間科学科では、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）を、教育課程の編成・教育内容、教育方法及び教育評価の3つの観点から定める。

【1 教育課程の編成・教育内容】

- (1) 社会の構成員としての基本的知識・技能・態度の修得のため、以下8つの編成からなる「基礎教育科目」を置く。
 - ①「学習力の養成」には、淑徳大学で学ぶ意味・意義を建学の精神を通して学ぶとともに、大学生として必要となる主体的に学ぶ態度・技術などを修得するための科目を置く。
 - ②「思考力の養成」には、情報リテラシー、データ処理方法等の修得並びにこれらを効果的に活用した課題発見・問題解決に関する手法と能力の育成のための科目を置く。
 - ③「表現力の養成」には、日本語と英語によるコミュニケーション能力の修得のための科目を置く。
 - ④「人間力の養成」には、自己管理能力や協調性等の社会生活における基本的態度や志向性の育成とキャリア支援のための科目を置く。
 - ⑤「社会力の養成」には、職業観の醸成とキャリア設計に関する科目を置く。
 - ⑥「人間の理解」には、人類の発達や生命、健康、文化、家族問題など幅広く人間生活に関する科目を置く。
 - ⑦「社会の理解」には、人間社会と社会メカニズムに対する理解を深めるためのさまざまな分野に係る科目を置く。
 - ⑧「国際的理解」には、国際社会で生じている諸課題に対する認識と現代国際事情について総合的に理解し、国際協調に貢献できる国際教養を身に付けるための科目を置く。
- (2) 人間科学の主要分野における基礎・基本となる知識・技能及びより深い専門性の修得に加えて、理論的知識や技能を実践に應用しうる知識・技能・資質の修得のため、「専門教育科目」を置く。
 - ①「基礎科目」及び「基幹科目」では、人間科学に関する基礎知識を理解し、人間科学領域の知識と技能を教育内容とする。
 - ②「展開科目」では、心理、福祉、教育及び健康科学の領域における、より専門性の高い知識と技能についての教育内容とする。
 - ③「演習科目」「実践科目」では、演習でのケーススタディや人間科学における自由課題の取組みを観察・体験することにより、理論の実践への適用や持続可能な幸福を探索する教育内容とする。
- (3) 科目の体系及び各科目において身に付けるべき知識・技能・態度を明示するため、「基礎教育科目体系図」及び「専門教育科目体系図」を作成する。

【基礎教育科目】社会の構成員としての基本的知識・技能・態度の修得のため、以下8つの編成からなる「基礎教育科目」を置く。

学年・項目	学習力の養成	思考力の養成	表現力の養成	人間力の養成	社会力の養成	人間の理解	社会の理解	国際的理解
DP	1- (4)	1- (2) 1- (3)	1- (1)	1- (3)	1- (4)	1- (4)	1- (4)	1- (4)
CP	学ぶ意味・意義を建学の精神を通して学ぶとともに、大学生として必要となる主体的に学ぶ態度・技術などを修得するための科目を置く。	データ処理方法等の修得並びにこれらを効果的に活用した課題発見・問題解決に関する手法と能力の修得するための科目を置く。	日本語と英語によるコミュニケーション能力の修得のための科目を置く。	自己管理能力や協調性等の社会生活における基本的態度や志向性の育成とキャリア支援のための科目を置く。	職業観の醸成とキャリア設計に関する科目を置く。	人類の発達や生命、健康、文化、家族問題など幅広く人間生活に関する科目を置く。	人間社会と社会メカニズムに対する理解を深めるためのさまざまな分野に係る科目を置く。	国際社会で生じている諸課題に対する認識と現代国際事情について総合的に理解し、国際協調に貢献できる国際教養を身に付けるための科目を置く。
4年		創造思考法						
3年		問題解決法	表現技法Ⅴ（プレゼンテーション）					
2年			コミュニケーション英語Ⅲ（実践） コミュニケーション英語Ⅳ（実践） 表現技法Ⅲ（発表・討論） 表現技法Ⅳ（企画・立案）	地域活動と社会貢献 他者理解と信頼関係	社会的・職業的自立Ⅰ 社会的・職業的自立Ⅱ	現代家族と育児介護 生命科学と物理化学	日本国家と政治行政 現代医療と生命倫理	国際関係と日本外交 地球環境と環境対策
1年	初年次セミナー 利他共生	情報リテラシー データリテラシー 統計分析法	コミュニケーション英語Ⅰ（基礎） コミュニケーション英語Ⅱ（応用） 表現技法Ⅰ（読解・分析） 表現技法Ⅱ（作文・論文）	自己管理と社会規範 チームワークとリーダーシップ		人間心理と人間行動 健康管理と身体活動 スポーツと運動科学 日本社会と歴史文化	情報社会とデータサイエンス 法律社会と法律問題 福祉政策と福祉制度 経済構造と経済政策	国際社会と国際問題 世界宗教と民族問題 世界動向と国際貢献 国際平和と安全保

DP：卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー） CP：教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

【専門教育科目】人間科学の主要分野における基礎・基本となる知識・技能及びより深い専門性の修得に加えて、理論的知識や技能を実践に応用しうる知識・技能・資質の修得のため、「専門教育科目」を置く。

学年・項目	基礎科目	基幹科目	展開科目					演習・実践科目
DP	2-(1)人間科学に関する知識を体系的に修得し、社会の多種多様な実践の場で活用する技能・能力を身に付けている。 2-(2)人間が心身ともに健康的な生活を営む人間支援を実現するために、心理、社会福祉、健康および教育などに関する応用的な知識をもって、地域社会へ貢献する意欲を身に付けている。							
CP	人間科学に関する基礎知識を理解し、人間科学領域の知識と技能を修得する	心理、福祉、健康及び教育の領域における、より専門性の高い知識と技能を修得する					演習でのケーススタディや人間科学における自由課題の取組みを観察・体験する	
4年			人間	心理	福祉	健康	教育	人間科学専門演習VI 人間科学専門演習VII
3年				公認心理師の職責 心理的アセスメント実習 神経・生理心理学 福祉心理学 司法・犯罪心理学 産業・組織心理学 精神疾患とその治療 心理演習（基礎） 心理演習（応用） 福祉心理学 恋愛心理学 ストレスマネジメント 心理描写研究	児童に対する支援 家庭に対する支援 高齢者に対する支援 障害者に対する支援	子どもの身体運動と健康 高齢者の身体運動と健康 スポーツビジネス	こどもの生活環境 こどもの権利擁護 教育相談	人間科学専門演習IV 人間科学専門演習V フィールドワークII
2年			人間と仏教 人間と思想	臨床心理学概論 心理学基礎実験 感情・人格心理学 障害者・障害児心理学 心理的アセスメント 心理学的支援法 人体の構造と機能及び疾病 心理学研究法 心理学統計法 心理学実験 学習・言語心理学 社会・集団・家族心理学 教育・学校心理学 関係行政論	相談援助方法論 家族社会論 相談援助論 地域福祉の理論と方法	スポーツ心理学 健康と運動 健康と栄養 スポーツ生理学	教育心理学 日本の教育事情 教育哲学 教育社会学	人間科学専門演習II 人間科学専門演習III フィールドワークI
1年	人間行動論 人間科学概論	心理学概論I・II 社会福祉概論I・II 健康科学論I・II 教育学概論I・II	人間と倫理 人間と哲学	知覚・認知心理学 健康・医療心理学 発達心理学	ジェンダー論	栄養学		人間科学専門演習I

DP：卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー） CP：教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

【資料3】

淑徳大学短期大学部健康福祉学科介護福祉専攻の最近2年間の定員充足状況

健康福祉学科 介護福祉専攻

区分	令和2年度	令和3年度	平均
入学定員	40人	40人	40人
志願者数	16人	41人	28.5人
志願倍率	0.4倍	1.03倍	0.71倍
入学者数	16人	36人	26人
入学定員充足率	40.00%	90.00%	65.80%

参考

淑徳大学短期大学部 入学定員充足率

区分	令和2年度	令和3年度	平均
入学定員充足率	82.06%	72.06%	77.06%

科目群の学習・到達目標		基礎教育科目								
		1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	3年前期	3年後期	4年前期	4年後期	
■ 自校教育理念として身に付ける能力 建学の精神と自校教育について理解する										
学 習 力 の 養 成	学習目標 淑徳大学の理念や建学の精神を学び、本学での勉学の意義を理解する。 到達目標 本学の建学の精神とその教育の理念について理解しており、それを説明できる。		利他共生 ①							
	学習目標 大学教育の目的と意義の理解とともに、4年間の学習計画の立て方や学生生活のあり方について学習する。 到達目標 大学での学習およびその延長線上にある社会生活では、知識の蓄積に加え、知識を創り活用する技能が要求されることを理解する。	初年次必修 (学習の目的と技術) ①								
■ 汎用的技能として身に付ける能力 数量的スキル、情報リテラシーの習得及び問題解決能力を育成する										
思 考 力 の 養 成	学習目標 コンピューターとソフトウェアの利用方法やインターネットを利用したの情報検索、情報収集の方法を学ぶ。 到達目標 情報通信技術を用いて情報を収集分析し、正確に判断でき、モラルに則り効果的に運用できる能力が身についている。	情報リテラシー ①	データリテラシー①							
	学習目標 統計資料の要約、分析、活用の方法と分析結果の表現技法について学ぶ。 到達目標 自然や社会的現象について統計資料を活用して分析し、理解した上で明快に説明できる能力が身についている。		統計分析法 ①							
	学習目標 自らが立てた新たな課題に情報通信技術を適用し、解決する能力を養成する。 到達目標 自らの力で問題を発見し、解決に必要な情報を収集、分析、整理し、その問題を確実に解決できる能力が身についている。						問題解決法 ①		創造思考法 ①	
■ 言語表現技能として身に付ける能力 日本語と英語による語学運用能力を習得する										
表 現 力 の 養 成	学習目標 英語を用いての日常的な会話と文章によるコミュニケーションができる能力を養成する。 到達目標 英語を用いて簡単な日常会話ができ、文章においても他者に対して正確に自分自身の意思を伝えることができる。	コミュニケーション英語Ⅰ(基礎) ①	コミュニケーション英語Ⅱ(応用) ①	コミュニケーション英語Ⅲ(実践) ①	コミュニケーション英語Ⅳ(実践) ①					
	学習目標 日本語を用いて自分の意思、思想、感情などを相手に伝達できる能力を養成する。 到達目標 他者の話を正確に聞き取ると共に、状況や場面に即して伝えたい内容を他者に適切に伝えることができる。また目的に応じた文章表現ができる。	表現技法Ⅰ(読解・分析) ①	表現技法Ⅱ(作文・論文) ①	表現技法Ⅲ(発表・討論) ①	表現技法Ⅳ(企画・立案) ①	表現技法Ⅴ(プレゼンテーション) ①				

■ 社会人として身に付ける能力 基本的な態度と志向性を育成する

人間力の養成	<p>学習目標 人として守り行うべき道や正邪の判断において普遍的な規準となる道徳観を涵養する。</p> <p>到達目標 社会の規範やルールを理解し、人としてふさわしい行動をとることができる能力が身につけている。</p> <p>学習目標 多くの人々をまとめ、目的や方向に向かって教え導く能力と自ら目的を設定し確実に行動することができる態度を養成する。</p> <p>到達目標 自分の役割を理解し、他のメンバーの置かれた状況を配慮しながらチームのために行動することができる。</p> <p>学習目標 指示を待つのではなく、自らやるべきことを見つけて積極的に取り組む姿勢と自ら設定した目標に対して、それを行動に移し粘り強く取り組む姿勢を涵養する。</p> <p>到達目標 自らが属する社会の一員としての自覚、自分自身の社会的な役割を理解し、市民としての権利と義務を行使するための知識と技能を持ち、積極的に社会の発展と改善に関与することができる。</p>	自己管理と社会規範 ①		チームワークとリーダーシップ ①		地域活動と社会貢献①	他者理解と信頼関係①										
	<p>学習目標 卒業後も自立して学習し、将来への目的意識を明確に持つことができるように職業観を涵養し、職業に関する知識・技能を習得する。</p> <p>到達目標 自分自身の問題関心にもとづき、自分自身の手で学習テーマを設定し、学習するための計画を立てて主体的に学習することができる。また自己の個性を理解した上で主体的に進路を選択できる能力が備わっている。</p>					社会的・職業的自立Ⅰ①	社会的・職業的自立Ⅱ①										

■ 人間理解として身に付ける能力 人間と文化に関して理解する

人間の理解	<p>学習目標 社会生活を送る上で必要とされる人間理解に関する基本的な知識と複合的視点を養い、豊かな人間性を涵養する。</p> <p>到達目標 社会生活を送るうえで身に付けておくべき人間や人間理解に関する知識と自らがよって立つ国や地域の歴史や伝統、文化に関する知識と世界の多様な国や地域の歴史や伝統、文化に関する知識を習得している。</p>	人間心理と人間行動 ①	日本社会と歴史文化 ①	現代家族と育児介護 ①	生命科学と物理化学 ①													
		健康管理と身体活動 ①	スポーツと運動科学 ①															

■ 社会理解として身に付ける能力 社会と国際に関して理解する

社会の理解	<p>学習目標 社会的に重要な特定の主題や現代社会が直面する基本的な諸課題に関する知識と総合的に判断する能力を養います。</p> <p>到達目標 現代社会が直面する基本的な諸課題に関する知識と現代国際事情に関する総合的な知識を習得している。</p>	情報社会とデジタルライエンス ①	経済構造と経済政策 ①	日本国家と政治行政 ①	現代医療と生命倫理 ①													
		法律社会と法律問題 ①	福祉政策と福祉制度 ①															

国際の理解	<p>学習目標 現代社会が直面する基本的な諸課題、地球規模で生じている諸問題、現代国際事情などについての理解を深める。</p> <p>到達目標 現代社会が直面する基本的な諸課題に関する知識と現代国際事情に関する総合的な知識を習得している。</p>	国際社会と国際問題 ①	世界宗教と民族問題 ①	地球環境と環境対策 ①														
		世界動向と国際貢献 ①	国際平和と安全保障 ①		国際関係と日本外交 ①													

淑徳大学 人文学部人間科学科 専門教育科目体系図

科目群の学習・到達目標	専門教育科目									
	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	3年前期	3年後期	4年前期	4年後期		
基礎科目 ■ 人間科学の基礎理論及び学習方法について理解する ・人間科学の定義および基礎理論を身につけることで、その後の発展科目を理解するための人間科学的視点を獲得する。	人間科学概論 ②	人間行動論 ②								
基幹科目 ■ 人間科学を理解するうえで必要な4分野の基礎理論を身につける。 ・心理学の主要分野の研究成果を広く浅く学ぶことで心理学を概観し、心理学の基礎知識を理解する。 ・社会福祉の原理を巡る思想・哲学とその理論を理解し、欧米の歴史的展開過程と日本の福祉の比較による、我が国の社会福祉の特性を理解する。 ・健康に関連した言説や事象について学び、自分の力で考え、判断するために必要な知識を身に着け、背景を理解する。 ・教育についての基礎的考察を通して、人間と教育との関わりを認識し、教育学の基礎知識を理解する。	心理学概論 I ② 社会福祉概論 I ② 健康科学論 I ② 教育学概論 I ②	心理学概論 II ② 社会福祉概論 II ② 健康科学論 II ② 教育学概論 II ②								
■ 人間科学における哲学、倫理学、思想学及び仏教のもつ意義や役割について理解する。	人間と哲学 (哲学と人間) ②	人間と倫理 (倫理と人間) ②	人間と思想 (思想と人間) ②	人間と仏教 (思想と人間) ②						
■ 公認心理師の役割を理解する ・公認心理師の役割、法的義務、倫理及び分野ごとの公認心理師の具体的な業務を理解する。			関係行政論 ②		公認心理師の職責 ②					
■ 心理学研究法とその分析的視点を修得する ・心理学における実証的研究方法、データ分析を用いた実証的な思考方法、研究倫理を理解する。 ・心理学で用いられる統計手法及び統計に関する基礎的な知識を修得する。 ・実験の計画を立案し心理実験を行い、実験結果を分析しレポートを作成する。 ・性格検査、発達検査、知能検査、神経心理学的検査の代表的な検査法を、実践例も交えて理解する。 ・心理学的支援法には、どの療法にも共通する姿勢とともに、様々なアプローチや考え方があることを理解する。			心理学統計法② 心理学研究法② 心理学実験 ②	心理学基礎実験 ② 心理的アセスメント ②	心理的アセスメント実習②					
■ 基礎心理学の知識を修得する ・人の感覚、知覚、認知及び思考の機序に関する知識を修得する。 ・人格に関する様々な理論や人格をとらえるための方法について学び、自己や他者について理解する。 ・理解や記憶のしくみ、ことばの習得における学習の機序に関する知識を修得する。 ・心身の発達過程に関する知識を修得する。 ・人間の脳の構造や機能について、基礎的な知識に関する知識を修得する。		知覚・認知心理学 ② 発達心理学 ②	学習・言語心理学 ② 社会・集団・家族心理学 ②	感情・人格心理学 ②	神経・生理心理学 ②					

<p>■ 応用心理学の知識を修得する</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般的に心の健康に関する幅広い知識と対処法を修得する。 健康心理学の知見とその活用についての知識を修得する。 障害者・障害児が抱える心理的・社会的困難の実際についての知識を修得する。 学校教育が抱えている諸問題を学校心理学や教育心理学的な観点から理解する。 犯罪、非行、被害者支援などに対し、どのように理解していくのか理論を学び、そこに関わる心理師の役割などを理解する。 福祉対象者を理解し心理支援するために必要な知識を学修し、福祉対象者への心理支援について理解する。 産業・組織心理学の主要概念について理解する。 		健康・医療心理学 ②	教育・学校心理学 ②	臨床心理学概論 ② 障害者・障害児心理学 ② スポーツ心理学 ②	司法・犯罪心理学 ② 恋愛心理学②	福祉心理学 ② 産業・組織心理学 ② ストレスマネジメント② 心理描写研究 ②		
<p>■ 人間の疾病と健康の機序を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 心身機能と身体構造及び様々な疾病や障害、がん、難病等の心理に関する支援が必要な疾病を理解する。 精神疾患総論（代表的な精神疾患についての成因、症状、診断法、治療法、経過、本人や家族への支援を含む。）、向精神薬をはじめとする薬剤による心身の変化及び医療機関との連携を理解する。 				人体の構造と機能及び疾病 ②		精神疾患とその治療 ②		
<p>■ 心理に関する支援を要する者等に関する以下の知識及び技能の修得する。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) コミュニケーション (2) 心理検査 (3) 心理面接、(4) 地域支援の知識技能の修得する。 心理に関する支援を要する者等の理解とニーズの把握及び支援計画の作成する 心理に関する支援を要する者の現実生活を視野に入れたチームアプローチを理解する。 多職種連携及び地域連携について理解する。 公認心理師としての職業倫理及び法的義務への理解する 					心理演習（基礎） ①	心理演習（応用） ①	心理実習 ②	
<p>■ カウンセリングの手法を身に付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> 心理支援のための基本的な理論と諸技法を修得する。 				心理学的支援法 ②				
<p>■ 福祉分野に関する知識を修得する</p> <ul style="list-style-type: none"> 相談援助や支援に関わる知識や技術を理解する。 地域福祉の基本的な考え方を理解する。 現代社会における児童、家庭、障害者及び高齢者の支援に対する現状と課題、支援方法について理解をさせる。 性差別を解消するための知識や意欲を獲得する。 		ジェンダー論 ②	相談援助論 ② 地域福祉の理論と方法 ②	相談援助方法論 ② 家族社会論 ②	児童に対する支援 ② 障害者に対する支援 ②	家庭に対する支援 ② 高齢者に対する支援 ②		

<p>■ 健康分野に関する知識を修得する</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的な栄養学の知識を修得する。 健康と栄養に関する基礎知識を修得する。 スポーツに関わる事象の生理的な仕組みについて理解する。 心身ともに健康で豊かな生活をおくるための運動について理解する。 子どもや高齢者が必要な身体運動及び健康に関する基本的な捉え方を理解する。 		<p>栄養学 ②</p>	<p>健康と栄養 ②</p> <p>スポーツ生理学 ②</p>	<p>健康と運動 ②</p>	<p>子どもの身体運動と健康 ②</p> <p>スポーツビジネス ②</p>	<p>高齢者の身体運動と健康 ②</p>		
<p>■ 教育分野に関する知識を修得する</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育の本質・理念を理解する。 学校、家庭、地域社会、職場などで営まれている学校以外の教育も含む幅広い教育事象を理解する。 学校制度の成立と発展、近代的学級・学年制の成立と展開、学校の社会的基盤、教育内容・方法の現在に至る変遷などの知識を修得する。 教育現場で生じる問題について理解を深めるとともに、一般的な支援方法について修得する。 児童、生徒への適切な指導・支援方法について修得する。 子どもの育つ力と発達について、子どもと子どもを取りまく環境の子どもへの影響について理解する。 子どもたちをめぐる諸問題を、「子どもの人権」として捉え、子どもの人権について理解する。 			<p>教育哲学 ②</p>	<p>教育社会学 ②</p> <p>日本の教育事情 ②</p> <p>教育心理学 ②</p>	<p>子どもの権利擁護 ②</p>	<p>教育相談②</p> <p>こどもの生活環境 ②</p>		
<p>演習科目</p> <p>■ 課題を発見し、解決する能力を修得する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 学生が主体的に研究テーマを決めた上で、討論などを通して専門的な知識を深める。 		<p>人間科学専門演習Ⅰ ①</p>	<p>人間科学専門演習Ⅱ ①</p>	<p>人間科学専門演習Ⅲ ①</p>	<p>人間科学専門演習Ⅳ ①</p>	<p>人間科学専門演習Ⅴ ①</p>	<p>人間科学専門演習Ⅵ ①</p>	<p>人間科学専門演習Ⅶ ①</p>
<p>実践科目</p> <p>■ 体験学習についての手法を修得する</p> <ul style="list-style-type: none"> 学修テーマとなる課題設定から終了報告までを、個人又はグループで活動する。 			<p>フィールドワークⅠ（事前事後学習を含む） ③</p>		<p>フィールドワークⅡ（事前事後学習を含む） ③</p>			

公認心理師系（心身や環境の理由により日常生活を送るのに支障がある人に対する相談援助を行ううえで求められる基礎的な知識と技能を修得するモデル）

	1年次				2年次				3年次				4年次				計
	前学期		後学期		前学期		後学期		前学期		後学期		前学期		後学期		
	科目	単位	科目	単位	科目	単位	科目	単位	科目	単位	科目	単位	科目	単位	科目	単位	
基礎教育科目	学習力の養成	●初年次セミナー	1	●利他共生	1												2
	思考力の養成	●情報リテラシー	1	●データリテラシー	1						●問題解決法	1			●創造思考法	1	5
	表現力の養成	●コミュニケーション英語Ⅰ（基礎）	1	●コミュニケーション英語Ⅱ（応用）	1	●コミュニケーション英語Ⅲ（実践）	1										7
		●表現技法Ⅰ（読解・分析）	1	●表現技法Ⅱ（作文・論文）	1	●表現技法Ⅲ（発表・討論）	1						表現技法Ⅳ（企画・立案）	1			
	人間力の養成	●自己管理と社会規範	1	●チームワークとリーダーシップ	1	●地域活動と社会貢献	1	●他者理解と信頼関係	1								4
	社会力の養成					●社会的・職業的自立Ⅰ	1	●社会的・職業的自立Ⅱ	1								2
	人間の理解	人間心理と人間行動	1			現代家族と育児介護	1			健康管理と身体活動	1						3
	社会の理解	法律社会と法律問題	1	福祉政策と福祉制度	1							現代医療と生命倫理	1				3
	国際の理解	国際社会と国際問題	1					世界宗教と民族問題	1	地球環境と環境対策	1						3
基礎教育科目（小計）	8		7		5		3		2		2		1		1		29
専門教育科目	基礎科目	●人間科学概論	2	●人間行動論	2												4
	基幹科目	●心理学概論Ⅰ	2	心理学概論Ⅱ	2												12
		●教育学概論Ⅰ	2					社会福祉概論Ⅱ	2								
		●社会福祉概論Ⅰ	2														
		●健康科学論Ⅰ	2														
	展開科目			知覚・認知心理学	2	心理学実験	2	臨床心理学概論	2	公認心理師の職責	2	福祉心理学	2	心理実習	1	心理実習	1
			発達心理学	2	心理学研究法	2	心理学基礎実験	2	心理的アセスメント実習	2	産業・組織心理学	2					
			健康・医療心理学	2	心理学統計法	2	心理的アセスメント	2	神経・生理心理学	2	精神疾患とその治療	2					
				学習・言語心理学	2	感情・人格心理学	2	司法・犯罪心理学	2	心理演習（応用）	1						
				関係行政論	2	心理学的支援法	2	心理演習（基礎）	1	人体の構造と機能及び疾病	2						
					相談援助論	2	相談援助方法論	2	児童に対する支援	2	家庭に対する支援	2	障害者に対する支援	2	高齢者に対する支援	2	
										ジェンダー論	2	子どもの身体運動と健康	2	高齢者の身体運動と健康	2		
												子どもの権利擁護	2				
演習科目		●人間科学専門演習Ⅰ	1	●人間科学専門演習Ⅱ	1	●人間科学専門演習Ⅲ	1	●人間科学専門演習Ⅳ	1	●人間科学専門演習Ⅴ	1	●人間科学専門演習Ⅵ	1	●人間科学専門演習Ⅶ	1	7	
実践科目																	
専門教育科目（小計）	10		11		13		15		16		16		8		6		95
合計	18		18		18		18		18		18		9		7		124

福祉系モデル (こども、家庭、高齢者が生活の中で抱えている様々な問題を自ら解決できるよう支援を行ううえで求められる基礎的な知識と技能を修得するモデル)

	1年次				2年次				3年次				4年次				計
	前学期		後学期		前学期		後学期		前学期		後学期		前学期		後学期		
	科目	単位	科目	単位	科目	単位	科目	単位	科目	単位	科目	単位	科目	単位	科目	単位	
基礎教育科目	学習力の養成	●初年次セミナー	1	●利他共生	1												2
	思考力の養成	●情報リテラシー	1	●データリテラシー 統計分析法	1 1						●問題解決法	1			●創造思考法	1	5
	表現力の養成	●コミュニケーション英語Ⅰ(基礎) ●表現技法Ⅰ(読解・分析)	1 1	●コミュニケーション英語Ⅱ(応用) ●表現技法Ⅱ(作文・論文)	1 1	●コミュニケーション英語Ⅲ(実践) ●表現技法Ⅲ(発表・討論)	1 1										6
	人間力の養成	●自己管理と社会規範	1	●チームワークとリーダーシップ	1	●地域活動と社会貢献	1	●他者理解と信頼関係	1								4
	社会力の養成					●社会的・職業的自立Ⅰ	1	●社会的・職業的自立Ⅱ	1								2
	人間の理解	健康管理と身体活動	1							現代家族と育児介護	1						2
	社会の理解	情報社会とデータサイエンス	1	福祉政策と福祉制度	1	法律社会と法律問題	1										3
	国際の理解	国際社会と国際問題	1								国際平和と安全保障	1					2
基礎教育科目(小計)	8		7		5		2		1		2		0		1	26	
専門教育科目	基礎科目	●人間科学概論	2	●人間行動論	2												4
	基幹科目	●心理学概論Ⅰ	2														10
		●教育学概論Ⅰ	2														
		●社会福祉概論Ⅰ	2	社会福祉概論Ⅱ	2												
		●健康科学論Ⅰ	2														
	展開科目			知覚・認知心理学	2	心理学実験	2	人間と仏教	2	人間と思想	2						74
			発達心理学	2	心理学研究法	2	臨床心理学概論	2	心理的アセスメント実習	2	福祉心理学	2	心理実習	1	心理実習	1	
			健康・医療心理学	2	心理学統計法	2	心理学基礎実験	2	神経・生理心理学	2	産業・組織心理学	2					
				2	学習・言語心理学	2	心理的アセスメント	2	司法・犯罪心理学	2	精神疾患とその治療	2					
				2		2	感情・人格心理学	2	心理演習(基礎)	1	心理演習(応用)	1					
				2		2	心理学的支援法	2	教育・学校心理学	2	人体の構造と機能及び疾病	2					
				2		2	相談援助論	2	社会・集団・家族心理学	2	障害者・障害児心理学	2					
				2		2		2	児童に対する支援	2	家庭に対する支援	2	子どもの身体運動と健康	2	高齢者の身体運動と健康	2	
				2		2		2	家族社会論	2	地域福祉の理論と方法	2	子どもの生活環境	2	子どもの権利擁護	2	
				2		2		2		2	障害者に対する支援	2					
演習科目			●人間科学専門演習Ⅰ	1	●人間科学専門演習Ⅱ	1	●人間科学専門演習Ⅲ	1	●人間科学専門演習Ⅳ	1	●人間科学専門演習Ⅴ	1	●人間科学専門演習Ⅵ	1	●人間科学専門演習Ⅶ	1	7
実践科目					フィールドワークⅠ(事前事後学修を含む)	2	フィールドワークⅠ(事前事後学修を含む)	1									
専門教育科目(小計)	10		11		13		16		16		16		10		6	98	
合計	18		18		18		18		17		18		10		7	124	

健康系モデル（人びとの健康維持と増進、疾病予防など、より良い暮らしが出来るように支援するうえで求められる基礎的な知識と技能を習得するモデル）

	1年次				2年次				3年次				4年次				計	
	前学期		後学期		前学期		後学期		前学期		後学期		前学期		後学期			
	科目	単位	科目	単位	科目	単位	科目	単位	科目	単位	科目	単位	科目	単位	科目	単位		
基礎教育科目	学習力の養成	●初年次セミナー	1	●利他共生	1												2	
	思考力の養成	●情報リテラシー	1	●データリテラシー 統計分析法	1 1						●問題解決法	1			●創造思考法	1	5	
	表現力の養成	●コミュニケーション英語Ⅰ（基礎）	1	●コミュニケーション英語Ⅱ（応用）	1	●コミュニケーション英語Ⅲ（実践）	1											7
		●表現技法Ⅰ（読解・分析）	1	●表現技法Ⅱ（作文・論文）	1	●表現技法Ⅲ（発表・討論）	1							表現技法Ⅳ（企画・立案）	1			
	人間力の養成	●自己管理と社会規範	1	●チームワークとリーダーシップ	1	●地域活動と社会貢献	1	●他者理解と信頼関係	1									4
	社会力の養成					●社会的・職業的自立Ⅰ	1	●社会的・職業的自立Ⅱ	1									2
	人間の理解	健康管理と身体活動	1			現代家族と育児介護	1							人間心理と人間行動	1			3
	社会の理解	情報社会とデータサイエンス	1					現代医療と生命倫理	1	法律社会と法律問題	1							3
	国際の理解	世界動向と国際貢献	1	世界宗教と民族問題	1							国際関係と日本外交	1					3
基礎教育科目（小計）	8		7		5		3		1		2		2		1		29	
専門教育科目	基礎科目	●人間科学概論	2	●人間行動論	2												4	
	基幹科目	●心理学概論Ⅰ	2															10
		●教育学概論Ⅰ	2															
		●社会福祉概論Ⅰ	2															
		●健康科学論Ⅰ	2	健康科学論Ⅱ	2													
	展開科目			知覚・認知心理学	2	人間と哲学	2	心理学実験	2	臨床心理学概論	2	人間と思想	2	福祉心理学	2			70
			健康・医療心理学	2	心理学実験	2	心理学研究法	2	心理学基礎実験	2	心理的アセスメント実習	2	産業・組織心理学	2				
				2	心理学統計法	2	心理学研究法	2	心理学的アセスメント	2	神経・生理心理学	2	精神疾患とその治療	2				
				2	学習・言語心理学	2	心理学統計法	2	心理学的支援法	2	司法・犯罪心理学	2	心理演習（応用）	1				
				2	発達心理学	2	発達心理学	2	心理演習（基礎）	1	心理演習（基礎）	1	人体の構造と機能及び疾病	2				
				2	健康と栄養	2	健康と栄養	2	教育心理学	2	教育・学校心理学	2	障害者・障害児心理学	2				
				2	健康と運動	2	健康と運動	2	健康と運動	2	社会・集団・家族心理学	2	感情・人格心理学	2				
				2		2		2	スポーツ生理学	2	スポーツ生理学	2	スポーツ心理学	2	子どもの身体運動と健康	2	家族社会論	
演習科目			●人間科学専門演習Ⅰ	1	●人間科学専門演習Ⅱ	1	●人間科学専門演習Ⅲ	1	●人間科学専門演習Ⅳ	1	●人間科学専門演習Ⅴ	1	●人間科学専門演習Ⅵ	1	●人間科学専門演習Ⅶ	1	1	
実践科目																		
専門教育科目（小計）	10		11		13		15		16		16		7		7		95	
合計	18		18		18		18		17		18		9		8		124	

教育系モデル (思春期・青年期に遭遇する問題について、同等の立場で相談援助を行ううえで求められる基礎的な知識と技能を修得するモデル)

	1年次				2年次				3年次				4年次				計	
	前学期		後学期		前学期		後学期		前学期		後学期		前学期		後学期			
	科目	単位	科目	単位	科目	単位	科目	単位	科目	単位	科目	単位	科目	単位	科目	単位		
基礎教育科目	学習力の養成	●初年次セミナー	1	●利他共生	1												2	
	思考力の養成	●情報リテラシー	1	●データリテラシー 統計分析法	1 1						●問題解決法	1			●創造思考法	1	5	
	表現力の養成	●コミュニケーション英語Ⅰ(基礎)	1	●コミュニケーション英語Ⅱ(応用)	1	●コミュニケーション英語Ⅲ(実践)	1										6	
		●表現技法Ⅰ(読解・分析)	1	●表現技法Ⅱ(作文・論文)	1	●表現技法Ⅲ(発表・討論)	1											
	人間力の養成	●自己管理と社会規範	1	●チームワークとリーダーシップ	1	●地域活動と社会貢献	1	●他者理解と信頼関係	1									4
	社会力の養成					●社会的・職業的自立Ⅰ	1	●社会的・職業的自立Ⅱ	1								2	
	人間の理解	人間心理と人間行動	1	スポーツと運動科学	1									現代家族と育児介護	1		3	
	社会の理解			福祉政策と福祉制度	1	情報社会とデータサイエンス	1			法律社会と法律問題	1						3	
国際の理解			世界宗教と民族問題	1					国際社会と国際問題	1						2		
基礎教育科目(小計)	6		9		5		2		2		1		1		1		27	
専門教育科目	基礎科目	●人間科学概論	2	人間行動論 a	2												4	
	基幹科目	●心理学概論Ⅰ	2	教育学概論Ⅱ	2													10
		●教育学概論Ⅰ	2															
		●社会福祉概論Ⅰ	2															
		●健康科学論Ⅰ	2															
	展開科目	人間と哲学	2	人間と倫理	2	心理学実験	2	知覚・認知心理学	2	心理的アセスメント実習	2	福祉心理学	2					70
			発達心理学	2	心理学研究法	2	臨床心理学概論	2	神経・生理心理学	2	産業・組織心理学	2						
					心理学統計法	2	心理学基礎実験	2	心理演習(基礎)	1	精神疾患とその治療	2						
					学習・言語心理学	2	心理的アセスメント	2	教育・学校心理学	2	心理演習(応用)	1						
					教育哲学	2	心理学的支援法	2	社会・集団・家族心理学	2	障害者・障害児心理学	2						
					家族社会学	2	教育心理学	2	相談援助論	2	相談援助方法論	2	子どもの身体運動と健康	2	家庭に対する支援	2		
						2	教育社会学	2	教育相談	2	子どもの権利擁護	2	心理描写研究	2				
演習科目		●人間科学専門演習Ⅰ	1	●人間科学専門演習Ⅱ	1	●人間科学専門演習Ⅲ	1	●人間科学専門演習Ⅳ	1	●人間科学専門演習Ⅴ	1	●人間科学専門演習Ⅵ	1	●人間科学専門演習Ⅶ	1	7		
実践科目				フィールドワークⅠ(事前事後学修を含む)	2	フィールドワークⅠ(事前事後学修を含む)	1	フィールドワークⅡ(事前事後学修を含む)	2	フィールドワークⅡ(事前事後学修を含む)	1							
専門教育科目(小計)	12		9		13		16		16		17		7		7		97	
合計	18		18		18		18		18		18		8		8		124	

【資料 6】

心理実習施設一覧

実習受け入れ

実習施設名	所在地	受け入れ人数
式場病院	千葉県市川市国府台 6-1-14	15 名
久喜すずのき病院	埼玉県久喜市北青柳 1366-1	15 名
板橋区子ども家庭総合支援センター 児童相談所	東京都板橋区本町 24 番 17 号	15 名
大起エンゼル 地域包括センター	東京都荒川区東尾久 1-1-4 5 階	15 名
淑徳中学・高等学校	東京都板橋区前野町 5-14-1	15 名
淑徳巣鴨中学・高等学校	東京都豊島区西巣鴨 2-22-16	15 名
淑徳与野中学・高等学校	埼玉県さいたま市中央区上落合 5-19-18	15 名

P35～P41までの実習承諾書は省く

心理実習 健康管理チェック表

- ・このチェック表は、心理実習の14日前から実習開始日までの健康状態を管理するものです。
- ・症状の有無を○×で記入してください。発熱、症状がある場合、速やかに実習担当教員に連絡し指示を仰いでください。
- ・家族の健康状態に問題等がある場合はその他の欄に記入する。

日付		体温	検温時間	頭痛	関節痛	咳	嘔吐	下痢	その他
14日前	月 日	朝 °C	:						
		夜 °C	:						
13日前	月 日	朝 °C	:						
		夜 °C	:						
12日前	月 日	朝 °C	:						
		夜 °C	:						
11日前	月 日	朝 °C	:						
		夜 °C	:						
10日前	月 日	朝 °C	:						
		夜 °C	:						
9日前	月 日	朝 °C	:						
		夜 °C	:						
8日前	月 日	朝 °C	:						
		夜 °C	:						
7日前	月 日	朝 °C	:						
		夜 °C	:						
6日前	月 日	朝 °C	:						
		夜 °C	:						
5日前	月 日	朝 °C	:						
		夜 °C	:						
4日前	月 日	朝 °C	:						
		夜 °C	:						
3日前	月 日	朝 °C	:						
		夜 °C	:						
2日前	月 日	朝 °C	:						
		夜 °C	:						
1日前	月 日	朝 °C	:						
		夜 °C	:						
当日	月 日	朝 °C	:						
		夜 °C	:						

淑徳大学人文学部人間科学科

氏名 _____

【資料8】

○大学の学部等設置に伴う教員の採用に関する規程

(目的)

第1条 この規程は、大学の学部等を新たに設置する場合の教員の採用について定める。

(採用)

第2条 大学の学部等を新たに設置するため、教育・研究上、必要と認めた場合、次の表に定める教員（以下、当該教員という。）を採用することができる。

学部等	開設時の年齢	雇用契約：期間
大学の学部・学科 短大の学科	65才以上（満年齢）	採用期間は1年間とし、完成年度まで採用期間を更新することができる。
大学院	65才以上73才まで （満年齢）	採用期間は1年間とし、完成年度まで採用期間を更新することができる。

(具申)

第3条 当該教員を採用しようとする場合、学長は事前に稟議書により、理事長の承認を得るものとする。

(給与)

第4条 当該教員の給与は、勤務条件、勤務内容により、理事長がその都度決定する。

2 当該教員には別に定める場合を除き、退職金は支給しない。

(既設学部等の教員採用)

第5条 既設の学部等の教員を大学の学部等を新たに設置するため採用する場合は、完成年度まで採用期間を更新することができる。

附 則

1 この規程は、平成18年4月1日から施行する。

2 この規程の施行に伴い、「大学院設置申請に伴う教員採用の特例規程」は、廃止する。

【資料9】

図 書 等 購 入 計 画

区分	令和4年3月現在	購入予定分						合計
		開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	小計	
図書 (うち外国書)	135,330	1,279	450	450	450	450	3,079	138,409
	(2,183)	32	0	0	0	0	32	(2,151)
学術雑誌 (うち外国書)	198		20	20	20	20	20	218
	(5)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(5)
電子ジャーナル	12,904	0	0	0	0	0	0	12,904
視聴覚資料	2,479	27	20	20	20	20	107	2,586

(単位：冊)

(目的)

第 1 条 この規程は、淑徳大学学則（以下「学則」という。）第 15 条第 5 項に基づき、学部に置く教授会について定める。

(審議事項)

第 2 条 教授会は、学則第 15 条第 3 項に定める事項について審議を行い、学長に意見を述べるものとする。また、同条第 4 項に定める事項について審議を行い、学長又は学部長の求めに応じて、意見を述べることができるものとする。

(構成)

第 3 条 教授会は、学部に所属する本務の教授、准教授、講師及び助教（以下「構成員」という。）をもって構成する。

2 学長、副学長及び役員は、必要に応じて教授会に出席することができる。

3 学部長が必要と認めたととき、前 2 項に定める以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(会議の招集)

第 4 条 教授会は、原則毎月 1 回学部長がこれを招集する。ただし、必要があると認めたととき、学部長は、臨時に教授会を招集することができる。

2 構成員の半数以上が審議事項を指定して申し出たときは、学部長は教授会を招集しなければならない。

(会議の通知)

第 5 条 学部長は、教授会を招集するときは、事前に通知するものとする。

2 やむを得ず教授会を欠席する者は、その理由を付して事前に書面にて学部長に届け出て、許可を得なければならない。

(会議の成立)

第 6 条 教授会は、構成員の 3 分の 2 以上の出席をもって成立する。

(議長)

第 7 条 教授会の議長は、学部長又は学部長が指名した者が当たる。

(議決)

第 8 条 教授会の議事は、出席者の過半数をもってこれを決し、賛否同数のときは、議長の決するところによる。なお、特別の利害関係を有する者は、その議事の決定に加わることはできない。

(議事録及び署名人)

第 9 条 教授会の議事については、議事録を作成し、学部長が署名する。

(事務)

第10条 教授会の事務は、次のとおりとする。

千葉キャンパス：総務部

千葉第二キャンパス：看護栄養学部事務部

埼玉キャンパス：学事部

東京キャンパス：学事部

(報告)

第11条 学部長は、教授会の審議の結果を、学長に報告するものとする。

(改正)

第12条 この規程の改正は、大学協議会の議を経て、学長が決定するものとする。

附 則

- 1 この規程は、令和4年4月1日から施行する。
- 2 この規程の施行に伴い「総合福祉学部教授会規程」、「コミュニティ政策学部教授会規程」、「看護栄養学部教授会規程」、「経営学部教授会規程」、「教育学部教授会規程」及び「人文学部教授会規程」は、廃止する。

(目的)

第1条 淑徳大学学則第13条第2項に基づき、大学全般の重要事項を審議するため、学長の下に大学協議会を置く。

(自己点検・自己評価)

第1条の2 大学の自己点検・自己評価は、大学協議会がこれを行う。

(審議事項)

第2条 大学協議会は、次の事項について審議する。

- (1) 学則その他重要な規則の制定改廃に関する事項
- (2) 大学の教育・研究に関する重要事項
- (3) 大学の管理運営に関する重要事項
- (4) 学部その他の機関の連絡調整に関する事項
- (5) その他の重要事項

(委員会)

第2条の2 大学協議会は、必要に応じて委員会を置くことができる。

(構成員)

第3条 大学協議会は、学長、副学長、学長特別補佐、学部長、大学院研究科長、大学政策専門委員、大学事務局長、事務局長及び学長が指名する幹部職員（以下「構成員」という。）をもって構成する。

2 理事は、必要に応じ出席することができる。

3 学長が必要と認めるときは、構成員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(招集)

第4条 大学協議会は、学長が招集し、その議長となる。

(会議の成立)

第5条 大学協議会は、構成員の3分の2以上の出席をもって成立する。

(議決)

第6条 大学協議会の議事は、構成員の過半数をもってこれを決し、賛否同数のときは議長の決するところによる。

(議事録)

第7条 大学協議会の議事については、議事録を作成するものとする。

(事務)

第8条 大学協議会の事務は、大学事務局が担当する。

(審護事項の報告)

第9条 大学協議会の審議事項は、理事長に報告するものとする。

(改正)

第10条 この規程の改正は、大学協議会にはかり、理事長の承認を得て学長が行うものとする。

附 則

この規程は、平成8年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

(設置)

第1条 淑徳大学学則第10条第1項に基づき、本学部に教学委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(目的)

第2条 委員会は、学部の教務及び学生厚生に関する事項を審議し、必要に応じて教授会に提案又は報告する。

2 委員会は、学部長からの学部の教務及び学生厚生にかかわる諮問事項について審議する。

(構成)

第3条 委員会は、委員長及び委員若干名で構成する。ただし、必要がある場合は、副委員長を置くことができる。

(委員の選任)

第4条 委員長、副委員長及び委員は、本学部専任教職員の中から学部長が選任し、学長が委嘱する。

(任期)

第5条 委員長、副委員長及び委員の任期は、2年とする。ただし、1期を限度として再任を妨げない。

(委員長の任務)

第6条 委員長の任務は、次の各号のとおりとする。

- (1) 委員会の招集及びその議長を努める。
- (2) 第9条に定める委員会の審議事項について、教授会への報告と提案を行う。
- (3) 学部長の諮問事項に関する審議結果について、答申を行う。
- (4) 審議事項に関して、関係各部局への連絡及び調整を行う。
- (5) その他委員会として必要な事項を統括する。

2 副委員長は、委員長を補佐するとともに、委員長が事故等により任務を遂行できないときは、その任務を代行する。

3 委員は、会議に出席し、意見を述べ、議決にかかわる他、委員長の指示により必要な任務を遂行する。

(会議の開催と招集)

第7条 委員会は、定例に開催するものとし、委員長がこれを招集する。ただし、委員長が必要と認められた場合、臨時に開催することができる。

2 前項の規定にかかわらず、委員の半数以上が会議の開催を求めた場合、委員長は速やかに会議を招集しなければならない。

(会議の成立と議決)

第8条 会議は、委員会構成員の過半数の出席をもって成立する。ただし、出席は委任状をもってこれに代えることができる。

2 議事は、出席者の過半数の賛同によって決する。可否同数の場合は、議長の決するところによる。
(委員会の審議事項)

第9条 委員会は、次の事項について審議する。

(1) 教務に関する事項

- ア 履修
- イ 試験
- ウ 成績
- エ 卒業
- オ 免許及び資格
- カ 聴講生、特別聴講生及び科目履修生
- キ 教育指導
- ク その他教務に関する重要事項

(2) 学生厚生に関する事項

- ア 学籍
- イ 生活指導（学生団体、セミナー等）
- ウ 福利厚生（奨学金、健康・保健衛生、保健、食堂、学生ホール、アルバイト、アパート等）
- エ 課外活動（課外活動補助、学生行事、課外講座等）
- オ その他学生厚生に関する重要事項

(3) 学長又は学部長が諮問した事項

(教授会への報告及び提案)

第10条 委員会で審議し、議決された事項については、委員長は、これを速やかに教授会に報告又は提案して、審議事項は教授会の議を経て、学部長の承認を得なければならない。

(事務)

第11条 委員会に関する事務は、学事部が担当する。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成27年4月1日より施行する。

附 則

この規程は、令和2年4月1日より施行する。

(設置)

第1条 本学部にキャリア支援委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(目的)

第2条 委員会はキャリア開発及び就職活動の支援を通じて、学生の自己発見と自己実現を総合的に促進することを目的とする。

(業務)

第3条 委員会は、次の業務を行う。

- (1) 就職支援に関すること。
- (2) 正課外の免許・資格取得支援に関すること。
- (3) 卒業生の就職支援に関すること。

(構成)

第4条 委員会は委員長、副委員長及び委員若干名でこれを構成する。

(選任)

第5条 委員長、副委員長及び委員は、本学部専任教職員の中から学部長が委嘱する。

(任期)

第6条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

(招集)

第7条 委員長は、委員会を定例又は臨時に招集し、その議長となる。

2 委員長に事故があるときは、副委員長がこれに代わる。

(会議の成立と議決)

第8条 委員会は委員長、副委員長を含む委員の過半数の出席をもって成立する。

2 委員会の議事は出席者の過半数をもって決定し、賛否同数のときは議長の決するところによる。

(教授会への報告・提案)

第9条 委員長は、委員会で審議し議決された事項については、これを速やかに教授会に報告又は提案し、審議事項は教授会の議を経て、学長の承認を得なければならない。

(守秘義務)

第10条 委員は、委員会に関する事項について守秘義務を負う。

(事務)

第11条 委員会に関する事務は、キャリア支援室が担当する。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成27年4月1日より施行する。

附 則

この規程は、平成30年4月1日より施行する。

(目的)

第1条 この規程は、淑徳大学附属図書館規程第10条第2項に基づき、淑徳大学キャンパス附属図書館運営委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営について定める。

(任務)

第2条 委員会は、各キャンパスの附属図書館及び図書室（以下「各キャンパス図書館」という。）運営の適正と充実を図るために各キャンパス図書館長または図書室長（以下「館長」という。）の諮問に応ずることを任務とする。

(審議事項)

第3条 委員会は、館長の諮問に応じて次の事項を審議する。

- (1) 図書館の施設及び運営の基本方針に関する事項
- (2) 図書館の予算及び決算案に関する事項
- (3) 収書計画の基本方針及び選書に関する事項
- (4) 図書館の諸規則の制定に関する事項
- (5) その他図書館運営に関して必要と認められた事項

(構成)

第4条 委員会は、委員長、副委員長及び委員若干名で構成する。

(委員の選任)

第5条 委員長は館長とし、その他の委員は各学部の本務教員の中から学部長が委嘱する。

2 副委員長は、選任された委員の中から委員長が指名する。

(委員の任期)

第6条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

(運営)

第7条 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。委員長に事故があるときは、副委員長がこれに代わる。

2 委員会は、定例又は臨時にこれを招集する。

3 委員会は、委員の過半数の出席をもって成立する。

4 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決定するところによる。

(教授会等への報告及び提案)

第8条 委員長は、委員会で審議された事項を、必要に応じて教授会等に報告又は提案する。

(事務)

第9条 委員会に関する事務は、各キャンパス図書館事務室がこれを担当する。

附 則

- 1 この規程は、令和4年4月1日から施行する。
- 2 この規程の施行に伴い「淑徳大学附属図書館運営委員会規程」、「千葉図書館運営委員会規程」、「看護栄養学部図書室運営委員会規程」、「みずほ台図書館運営委員会規程」及び「東京図書館運営委員会規程」は、廃止する。

淑徳大学 > 淑徳大学について > 大学の取り組み > 内部質保証の推進について

内部質保証の推進について

[内部質保証に関する方針](#) [大学として求める教員像](#) [教員組織の編成方針](#) [学生支援に関する方針](#)
[教育研究等環境の整備に関する方針](#) [社会連携・社会貢献に関する方針](#)

大学の運営に関わる各種の方針を策定いたしました。

今後は、以下の方針をもとに、各種の取組みを進めてまいります。

[全て開く](#)

内部質保証に関する方針



内部質保証の目的

建学の精神に立脚した本学の理念・目的をふまえた「卒業認定・学位授与の方針」「教育課程編成・実施の方針」「入学者受入れの方針」に基づき、教育研究活動等の質保証を支える学内諸制度・諸事業の健全かつ効率的な運用の確立を図ることによって、高等教育機関としての社会的責務を果たすとともに広く社会に貢献する。

内部質保証の推進体制と自己点検・評価活動

1. 内部質保証システムの構築のため淑徳大学内部質保証推進委員会を設置し、大学としての内部質保証に関する方針を策定するとともに、内部質保証のための自己点検・評価活動の取組方法等を策定する。
2. 高等教育機関としての教育研究活動等の不断の改善と向上のために、大学、各学部・研究科、各委員会並びに附属機関及び事務組織等においては、恒常的に自己点検・評価活動を実施しなければならない。自己点検・評価活動の結果は、活動の証左たる根拠資料とともに、毎年度末までに、内部質保証推進委員会に報告しなければならない。
3. 自己点検・評価活動により明らかになった課題等について、学長は速やかにその対応策の策定と実施を指示する。
4. 本学は、自らが社会的公器であることを自覚して、学校教育法や大学設置基準等の各種法令を遵守するとともに、行政機関及び認証評価機関等からの指摘事項に対して適切な対応を講じる。
5. 本学は、内部質保証システムの適切性を検証するために、「外部評価委員会」を設ける。

大学として求める教員像

教員組織の編成方針

学生支援に関する方針

教育研究等環境の整備に関する方針

社会連携・社会貢献に関する方針

【資料17】

○淑徳大学内部質保証に関する規程

(目的)

第1条 この規程は、淑徳大学（以下「本学」という。）の理念及び目的を達成するために、本学における諸活動の成果を検証し、改善に努めてその質を自ら保証すること（以下「内部質保証」という。）を目的とする。

(設置)

第2条 大学協議会規程第2条の2に基づき、前条の内部質保証の推進に係る重要事項を審議するため、淑徳大学内部質保証推進委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(審議事項)

第3条 委員会は、次の事項を審議する。

- (1) 内部質保証の推進に向けた基本方針の策定に関する事項
- (2) 自己点検・評価の活動への運営支援に関する事項
- (3) 内部質保証の基本方針に基づく自己点検・評価の活動の検証に関する事項
- (4) 自己点検・評価の結果に対する改善支援に関する事項

(構成)

第4条 委員会は、学長、副学長、学部長、研究科長、事務局長及び学長が指名する者（以下「委員」という。）をもって構成する。

- 2 委員会に委員長を置き、委員長を学長とする。
- 3 委員長が必要と認めたときは、委員以外の者の出席を求め、その意見を聞くことができる。

(任務)

第5条 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

- 2 委員は、委員会に出席して意見を述べ、決定した必要な任務を遂行する。

(会議)

第6条 委員会は、委員の3分の2以上の出席をもって成立し、その議決は出席者の過半数の賛成による。

(大学自己点検・評価委員会)

第7条 第3条に規定する事項を実施するに当たり必要な事項を検討するため、委員会の下に、大学自己点検・評価委員会を置く。

- 2 大学自己点検・評価委員会については、別に定める。

(事務)

第8条 委員会に関する事務は、大学改革室が行う。

(雑則)

第9条 この規程に定めるもののほか、この規程の実施に関し必要な事項は、別に定める。

(改廃)

第10条 この規程の改廃は、大学協議会の議を経て、学長が決定する。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

(目的)

第1条 この規程は、淑徳大学学則第4条第4項、淑徳大学大学院学則第1条の2第4項及び淑徳大学大学協議会規程第1条の2に基づき、淑徳大学全般の自己点検・評価に係わる重要事項を審議し、大学の教育・研究水準の向上及び管理運営の健全化を図ることを目的とする。

(委員会の設置)

第2条 大学協議会のもとに、淑徳大学自己点検・評価委員会（以下「大学自己点検・評価委員会」という。）を置く。

(委員会の審議事項)

第3条 大学自己点検・評価委員会は、次の事項を審議する。

- (1) 自己点検・評価に関する事項
- (2) 認証評価に関する事項
- (3) 学長が諮問した事項
- (4) その他必要な事項

(委員会の構成)

第4条 大学自己点検・評価委員会は、学長、副学長、学部長、研究科長、大学事務局長、事務局長及び学長が指名する者（以下「構成員」という。）をもって構成する。

2 委員会の委員長は、学長とする。なお、学長が必要と判断した場合、学長以外の構成員の中から委員長を指名することができる。

3 委員長は、必要に応じて、第1項に掲げる者以外の者を加えることができる。

(招集)

第5条 大学自己点検・評価委員会は、委員長が招集する。

(自己点検・評価の項目)

第6条 大学の自己点検・評価の項目は、大学自己点検・評価委員会において審議する。

(自己点検・評価結果の公表)

第7条 自己点検・評価の結果は、学長の責任のもと公表するものとする。

(学部及び研究科の自己点検・評価)

第8条 学部及び研究科の自己点検・評価については、学部及び研究科ごとに委員会を設置し、自己点検・評価を行う。

2 学部自己点検・評価委員会については、別に定める。

3 研究科自己点検・評価委員会については、別に定める。

(業務)

第9条 自己点検・評価に関する業務は、大学改革室が担当する。

附 則

- 1 この規程は、平成21年10月1日から施行する。
- 2 この規程の施行に伴い淑徳大学自己点検・評価に関する申合せは、平成21年9月30日をもって廃止する。

附 則

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

(目的)

第1条 この規程は、淑徳大学自己点検・評価に関する規程第8条第2項に基づき、各学部の自己点検・評価委員会（以下「委員会」という。）について定める。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次の事項を取り扱う。

- (1) 自己点検・評価に関する事項
- (2) 学部長が諮問した事項
- (3) その他必要な事項

(構成)

第3条 委員会は、学部長、学科長、教務委員長、学生厚生委員長、教学委員長、事務局長、事務部長及び学部長が指名する者（以下「構成員」という。）をもって構成する。

2 委員会の委員長は、学部長とする。なお、学部長が必要と判断した場合、学部長以外の構成員の中から委員長を指名することができる。

3 委員長は、必要に応じて、第1項に掲げる者以外の者を加えることができる。

(招集)

第4条 委員会は、委員長が定例又は臨時に招集する。

(自己点検・評価の項目)

第5条 学部の自己点検・評価の項目は、大学の自己点検・評価項目に準ずる。

(自己点検・評価の実施)

第6条 前条の実施に当たっては、以下の調査結果を踏まえる。

- (1) 教育研究活動計画書及び報告書
- (2) 授業に関するアンケート調査
- (3) 学生生活実態調査
- (4) 委員会活動計画書及び報告書
- (5) その他教育研究に関する調査

2 実施に当たっては、PDCAサイクルに留意する。

(事務)

第7条 委員会に関する事務は、事務局が担当する。

(その他)

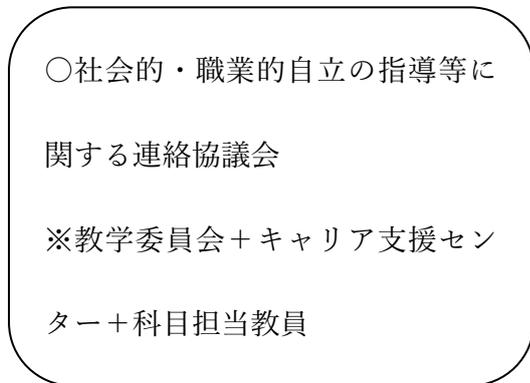
第8条 この規程の運用に当たっては、各学部の現状に合わせて取り扱うことができる。

附 則

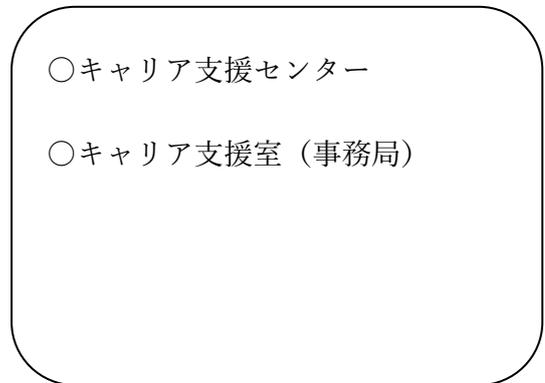
- 1 この規程は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 この規程の施行に伴い総合福祉学部自己点検・評価委員会規程、自己点検・評価委員会規程（国際コミュニケーション学部）、自己点検・評価検証委員会規程（国際コミュニケーション学部）、自己点検・評価規程（国際コミュニケーション学部）、看護栄養学部自己点検・評価に関する規程、コミュニティ政策学部自己点検・評価委員会規程、自己点検・評価委員会規程（経営学部）、自己点検評価検証委員会規程（経営学部）及び自己点検評価規程（経営学部）は、平成25年3月31日をもって廃止する。

社会的・職業的自立に関する指導及び体制の概要 【資料 20】

【教育課程内の取組における組織体制】



【教育課程外の取組における組織体制】



【教育課程内の取組】

- 基礎教育科目全体を通じた取組み
- ・知的活動でも職業生活や社会生活でも必要な技能及び態度・志向性の習得
- ・自己の存在を文化や社会と関連付けて理解させる
- ・職業現場への興味と関心と自らの職業選択に対する意識の涵養を図る
- ・職業人が果たす役割と責任や自覚と態度を身に付ける
- ・職業現場で必要となる実践的な能力の養成を図る

【教育課程外の取組】

- キャリア支援年間計画に基づく取組
- ・職業興味検査
- ・資格と仕事のセミナー
- ・インターンシップ
- ・各種資格取得講座
- ・公務員対策講座
- ・キャリア支援講座
- ・就職試験対策講座
- ・個別カウンセリング
- ・Uターンガイダンス
- ・関連職種ガイダンス
- ・企業等採用説明会
- ・国家試験対策講座
- ・国家試験対策指導

学年	2年生	3年生	就職志望(1~3年生)
目標	授業はもちろん、アルバイトやサークル、インターンシップ等自分の興味のあることに積極的に挑戦する	就職活動で必要となる幅広い分野での実力を磨くための実力を磨くためのガイダンスやインターンシップを通じて、自分の興味・能力・強みを【適正な方向】に磨き上げる	【筆記試験】に先駆けて、教員の選ばれはならず！1年間かけ、教養の基礎～応用を徹底的に身につける
時間	月曜 6限	水曜 5限	
	4月	4月	キャリアデザイン～オリエンテーション～(後編)005-101教室(歴史)004-201教室 オリエンテーション/卒業までの2年間の過ごし方/進路ハンドブック配布/キャリア支援室の活用方法
	4月	4月	自己PR添削①ゼミ毎に実施 ゼミごとにキャリア支援室カウンセラーとの1対1添削を行います
	4月	4月	自己PR添削②ゼミ毎に実施 ゼミごとにキャリア支援室カウンセラーとの1対1添削を行います
	5月	5月	自己PR添削③ゼミ毎に実施 ゼミごとにキャリア支援室カウンセラーとの1対1添削を行います
	5月	5月	自己PR添削④ゼミ毎に実施 ゼミごとにキャリア支援室カウンセラーとの1対1添削を行います
	5月	5月	自己PR添削⑤ゼミ毎に実施 ゼミごとにキャリア支援室カウンセラーとの1対1添削を行います
	5月	5月	私の「働き方」を考える① 将来、どのような働き方、生き方をしたいか？考えてみよう
	5月	5月	インターンシップナビゲーション(オンライン) ※当ガイダンスのみ、12:15~13:00お昼の時間帯に開催
	6月	6月	履歴添削①ゼミ毎に実施 企業のエントリーシートを書いてみよう！添削はマンツーマンで行います
	6月	6月	履歴添削②ゼミ毎に実施 企業のエントリーシートを書いてみよう！添削はマンツーマンで行います
	6月	6月	履歴添削③ゼミ毎に実施 企業のエントリーシートを書いてみよう！添削はマンツーマンで行います
	6月	6月	履歴添削④ゼミ毎に実施 企業のエントリーシートを書いてみよう！添削はマンツーマンで行います
	6月	6月	履歴添削⑤ゼミ毎に実施 企業のエントリーシートを書いてみよう！添削はマンツーマンで行います
	6月	6月	履歴添削⑥ゼミ毎に実施 企業のエントリーシートを書いてみよう！添削はマンツーマンで行います
学年	2年生	3年生	就職志望(1~3年生)
目標	業界研究セミナーや面接対策講座を受講し、就職活動本番に向けて実践力を高める		【筆記試験】に先駆けて、教員の選ばれはならず！1年間かけ、教養の基礎～応用を徹底的に身につける
時間	月曜 5限		
	9月	後学期スタートアップガイダンス(オンライン)	
	9月	業界研究セミナー★08・09の題を聞こう！(オンライン)	
	9月	筆記試験・SPI対策講座(オンライン) ～エスドリル活用方法および受検会～	
	10月	就職活動対策講座①社会人基礎力チェック/あなたの働く意識とは ※3年生:対面 1・2年生:WEB視聴	
	10月	就職活動対策講座②自己理解・自己分析 ※3年生:対面 1・2年生:WEB視聴	
	10月	就職活動対策講座③ガクテカ対策講座 ※3年生:対面 1・2年生:WEB視聴	
	10月	就職活動対策講座④業界研究・職種研究・企業研究 ※3年生:対面 1・2年生:WEB視聴	
	10月	就職活動対策講座⑤面接対策講座(集団・個人) ※3年生:対面 1・2年生:WEB視聴	
	11月	就職活動対策講座⑥WEB面接対策講座 ※3年生:対面 1・2年生:WEB視聴	
	11月	就職活動対策講座⑦GD対策講座 ※3年生:対面 1・2年生:WEB視聴	
	11月	グループカウンセリング	
	12月	就職活動直前ガイダンス	
学年	2年生対象	3年生対象	
目標	3年次に向けてのスタートアップガイダンスに参加する	就職活動直前の最後の仕上げを学内ガイダンスにて行う ・学内合同業界研究会はじめ、外部の合同説明会やインターンシップにも積極的に参加する	
教室・時間	※教室・時間の詳細はS-Navilにてご連絡します		
	1月	マナー講座	
	1月	2日間で就職力を高める！	
	2月	学内合同業界研究会	
	2月	就職試験SPI対策講座	
	3月	ゼミ別会員面談(オンライン)	

※前期のガイダンスは原則、水曜の5限に開催。後期のガイダンスは原則、月曜の5限に開催します【前後期で曜日が異なりますので、ご注意ください！！】
 ※4号館2階004-201教室(表現)および4号館4階004-401教室(歴史)で実施します。
 ※2年生対象キャリア支援ガイダンス、および教員採用試験対策講座の教室につきましては、決まり次第S-Navilにてご連絡します。
 ※社会情勢を鑑み、実施形態や行事内容が変更となる場合があります。S-Navilにて随時配信しますので、必ずご確認ください。

淑徳大学人文学部 2022年度キャリア支援ガイダンススケジュール【進路希望別】

行事	日程	時限・時間帯	備考
公務員試験受験希望者説明会	4月	12:15～13:00	公務員行政職・中級(保育士・警察官・消防官等)を目指す学生対象
声優・俳優ガイダンス	4月	16:30～17:30	
3年生保証人対象就職説明会 (保護者向けの就職相談会)	7月	9:30～11:30	保証人の方対象の就職説明会となります 前半:就職説明会/後半:就職個別相談会(希望される方のみ)
コミュニケーションカアップガイダンス	7月	10:00～12:30	学生対象のガイダンスです 前半:コミュニケーションカアップガイダンス/後半:就職個別相談会
アナウンサー希望者向けガイダンス	日程調整中	時間調整中	
表現学科対象学内インターンシップ	日程調整中	時間調整中	
中・高教員採用試験対策 (論文・人物試験対策) 【対象】卒業年次生(下位学年も参加可能)	日程調整中	9:00～16:15	初日のみ、下位学年参加可能 ※2021年度は7/26～7/28にて実施
公務員試験対策講座 中級向け基礎編 (保育士・警察官志望者対象) 【対象】前期中WEB講座を受講した学生のうち、対面でのフォローを希望する学生	日程調整中	1～4限	
WEBクリエイター能力検定試験対策 ★WEB★	7月	12:15～12:45	講座説明会のみ※Zoom開催
	8月	9:00～15:50	1コマ50分×6コマ(1日)※休憩あり ※検定試験:8/25(木)を予定
公務員試験(保育士) 2次試験対策 【対象】卒業年次生	日程調整中	1～4限	※短大生のみ
MOS (マイクロソフトオフィススペシャリスト)対策	2月	9:00～15:50	1コマ50分×6コマ(1日)※休憩あり
中・高教員採用試験対策 (専門試験対策)	2月	1～4限	

※上記の講座については、学年問わずどなたでも参加可能です。

※行事内容の詳細及び教室については、開催の2週間前までにS-Navilにてご連絡します。

淑徳大学人文学部 2022年度キャリア支援ガイダンススケジュール【WEB配信】

行事	配信期間	時限・時間帯	備考
就職活動準備講座① 社会人基礎力チェック/「働く意義」とは?	4月配信	好きな時間帯に 「しゅくとくちゃんねる」 から視聴できます	
就職活動準備講座② 夏のインターンシップに向けて(業界・職種研究)	5月配信		
就職活動準備講座③ 夏のインターンシップに向けて(企業訪問)	5月配信		
就職活動準備講座④ 夏のインターンシップに向けて(履歴書作成)	5月配信		
就職活動準備講座⑤ 夏のインターンシップに向けて(自己PR作成)	5月配信		
公務員試験対策講座中級向け基礎編 (保育士・警察官等志望者)	5月配信		公務員行政職・中級(保育士・警察官・消防官等)を目指す学生対象 ※事前申込必要

学内企業説明会

4年生			
	開催スケジュール	イベント	業者・企業等
4月	随時	ゼミ調査・活動状況架電	ゼミ担当教員/キャリア支援室
5月	4回開催(月曜3限) 4回開催(金曜3限)	リスタートガイダンス	レジャーコンソーシアム
6月	1回開催 4回開催(月曜13:00~15:00)	学内合同企業説明会① ハローワーク登録会/求人紹介イベント①	大学新聞社 東京新卒応援ハローワーク
7月	1回開催	埼玉16大学オンライン合同企業説明会	大学新聞社
9月	5日開催 4回開催(金曜3限)	進路未決定者全員面談/オンライン合同企業説明会 リスタートガイダンス	レジャーコンソーシアム/就探研 レジャーコンソーシアム
10月	1回開催	学内合同企業説明会②	大学新聞社
11月	5日開催 1回開催	学内個別企業説明会① 5大学合同企業説明会	エイジェック/リクルートスタッフィング情報サービス 大学新聞社
12月	2回開催(月曜13:00~15:00) 1回開催	ハローワーク登録会/求人紹介イベント② 学内個別企業説明会②	東京新卒応援ハローワーク エイジェック/リクルートスタッフィング情報サービス
1月	1回開催	ハローワーク登録会/求人紹介イベント③ 社会人準備セミナー	東京新卒応援ハローワーク 育て上げネット
2月	1回開催	学内個別企業説明会③	エイジェック/リクルートスタッフィング情報サービス
3月	1回開催	卒業後の就職応援セミナー	東京新卒応援ハローワーク/育て上げネット/板橋わかものサポートステーション